

箱種類

〔徒然草上〕箱のくりかたに緒をつくる事いづかたにつけ侍るべきぞとある有職の人に尋申侍りしかば、軸につけ表紙につくる事兩説なれば、いづれも難なし、文の箱はおほくは右につく、手箱には軸につくるも常の事なりとおほせられき。

〔延喜式民二部十。三。〕交易雜物

越中國(中略)編管三百十九合
織官廿八合○中略
因幡國(中略)荒中管
合○中略廿

右以正稅交易進其運動食並用正稅○略

〔法隆寺伽藍緣起并流記資財帳〕合革箱漆合

丈六分肆合 **壹合** 廣長八寸二分

右天平八年歲次丙子二月廿二日、納賜平城宮皇后者

參合人々奉納一
合長一尺七寸五分

佛分壹合
廣長七寸五分

安寺伽藍緣起并流記資財帳合皮管貳拾壹

革管貳百貳合佛物七十六合、法物十合

〔日本靈異記下〕如法奉寫法華經火不燒緣第廿